Ⅰ コース ＜富士根南地区＞

泉と古墳をたずねるコース

－ みどころ －

湧水に恵まれたこの地域には、古くから人々が暮らし、いくつかの古墳が築かれた。住宅地に残されたさまざまな古墳を巡る。

みどころポイント　古墳　寺社 卍 ⛩



距離：約5km　所要時間：約2時間

マークの凡例：観察ポイント ● 説明板 ▲ トイレ 駐車場 P 寺院 卍 神社 ⛩ 湧水 💧
石造物 富士山眺望ポイント ルート

Ⅰ コース ＜富士根南地区＞

ー コースのみどころ ー

①出水不動尊

ここは、かつて上野寛永寺（東京都台東区）の末寺 出水寺があった場所とされる。お堂後ろの崖には、寛永寺から運ばれてきたといわれる不動明王の石像が祀られている。
また、崖の岩場の割れ目にはお堂を守る大きな蛇が棲んでおり、祭りの時に姿を見せるといわれる。

②神祖山ノ神古墳

基底径 7～8m、高さ 1.5m 程の円墳と推定される。墳丘東西の裾部分が削られているが、保存状況は良い。大室古墳と同じ時期の古墳で、墳頂に山の神が祀られている

③寺内山ノ神古墳

大室古墳と同じ時期の古墳と考えられるが、墳丘の大部分は失われている。墳頂に山の神が祀られている。宅地との境に石室の一部と思われる石塊が露出している。

④虚空蔵社古墳

市指定史跡。墳丘頂上部に虚空蔵菩薩が祀られている。墳丘は少々失われているが、石室は全長 7～8m 前後と推定され、天井石らしい大礫が数個露出している。

⑤久遠寺

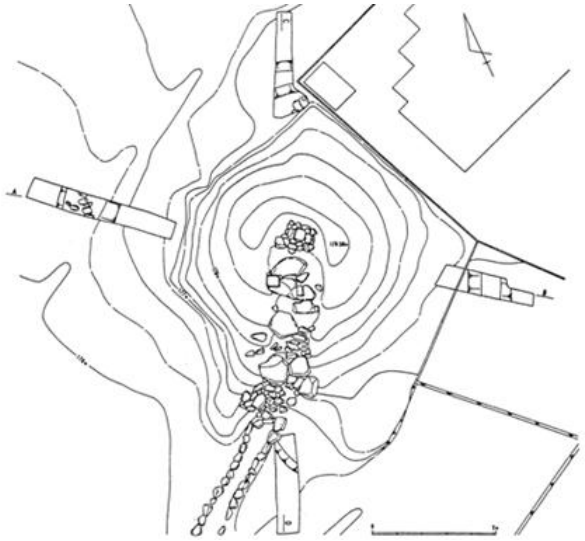
富士山麓に開かれた日蓮宗の五大寺院「富士五山」の一つである。長い参道や本堂跡の礎石にかつての大寺の面影がしのばれる。
久遠寺は、14 世紀中頃に日郷が法華宗信者の多い小泉地区に大石寺蓮蔵坊を移したことにはじまるという。

⑥上小泉八幡社

境内西側に湧水がある（市保存湧水池）。この泉が「小泉」の地名の由来になったという説がある。

⑦大室古墳

市指定史跡。昭和 53 年(1978)市内最初の古墳の学術調査（墳丘確認調査）が行われ、その際に「大室古墳」と命名された。
古墳時代後期（6 世紀）の円墳で、基底の直径は 15m、周濠の幅は 2m 程度、墳丘の高さは 3m 程度と推定される。
現在は巨大な川原石を使用した横穴式石室の天井石が露出し、頂上に祀られている山の神の参道となっている。



大室古墳墳丘実測図

問い合わせ先：富士宮市教育委員会 〔電話 0544-22-1111(代)〕

2026.10